

アマミノクロウサギ



- 奄美大島と徳之島だけに生息する固有種で、耳、足、尾が短く原始的な姿を残しているため「生きた化石」と呼ばれます。世界的にもめずらしい動物です。
- 夜行性で、道路のような開けた場所で食事をしたりフンをしたりする習性があります。
- 交通事故のほか、マングースやノネコといった外来生物による捕食で生息が脅かされています。
- 毎年9月から12月にかけて、発見される死体数が多くなります。これはアマミノクロウサギの活動が、繁殖のために活発になるからだと考えられます。



救急ダイヤル

アマミノクロウサギなどの野生動物がケガをしていたり、死んでいるのを発見したら連絡して下さい！

環境省 奄美野生生物保護センター

☎ 0997-55-8620

※仮に事故を起こしてしまっても、故意でない限り罪には問われません。事故の詳細情報は、今後の対策を考える上でも非常に重要です。皆様のご協力をお願いします。



交通事故に遭うのは

アマミノクロウサギだけではありません。
道路にはいろいろな生きものが出てきます。

たとえば・・・



「ゆっくり走ってくりんしょれ～」

マグネットステッカー



奄美野生生物保護センターで配布しています。
ステッカーを車に貼って、「ストップ!!交通事故」

主催：環境省 那覇自然環境事務所 奄美野生生物保護センター
共催：奄美群島希少野生生物保護対策協議会・奄美自然体験活動推進協議会
表紙絵：昌谷 玲華（平成24年度やせいのいきもの絵画展 審査員特別賞受賞作品）
写真協力：宮山 修

ストップ!! 交通事故

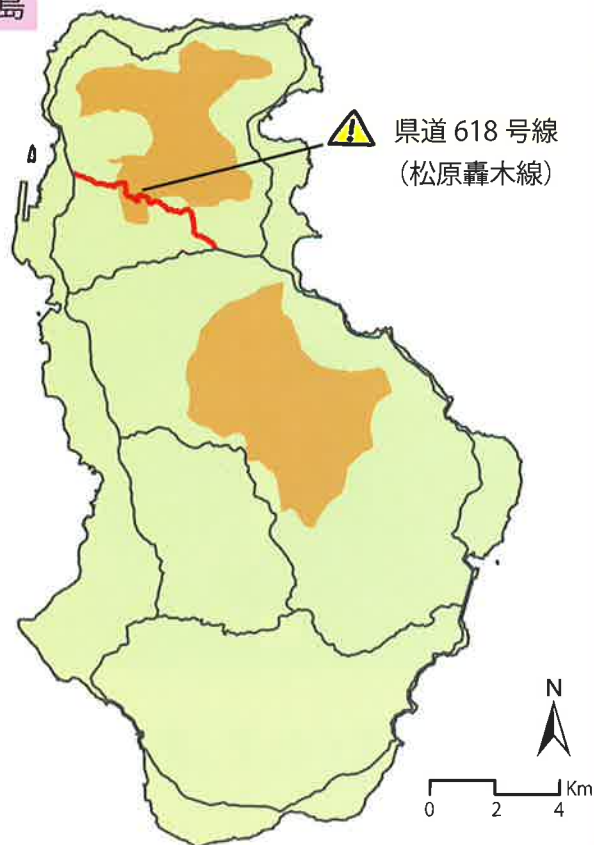


「とまってくれて ありがとう」

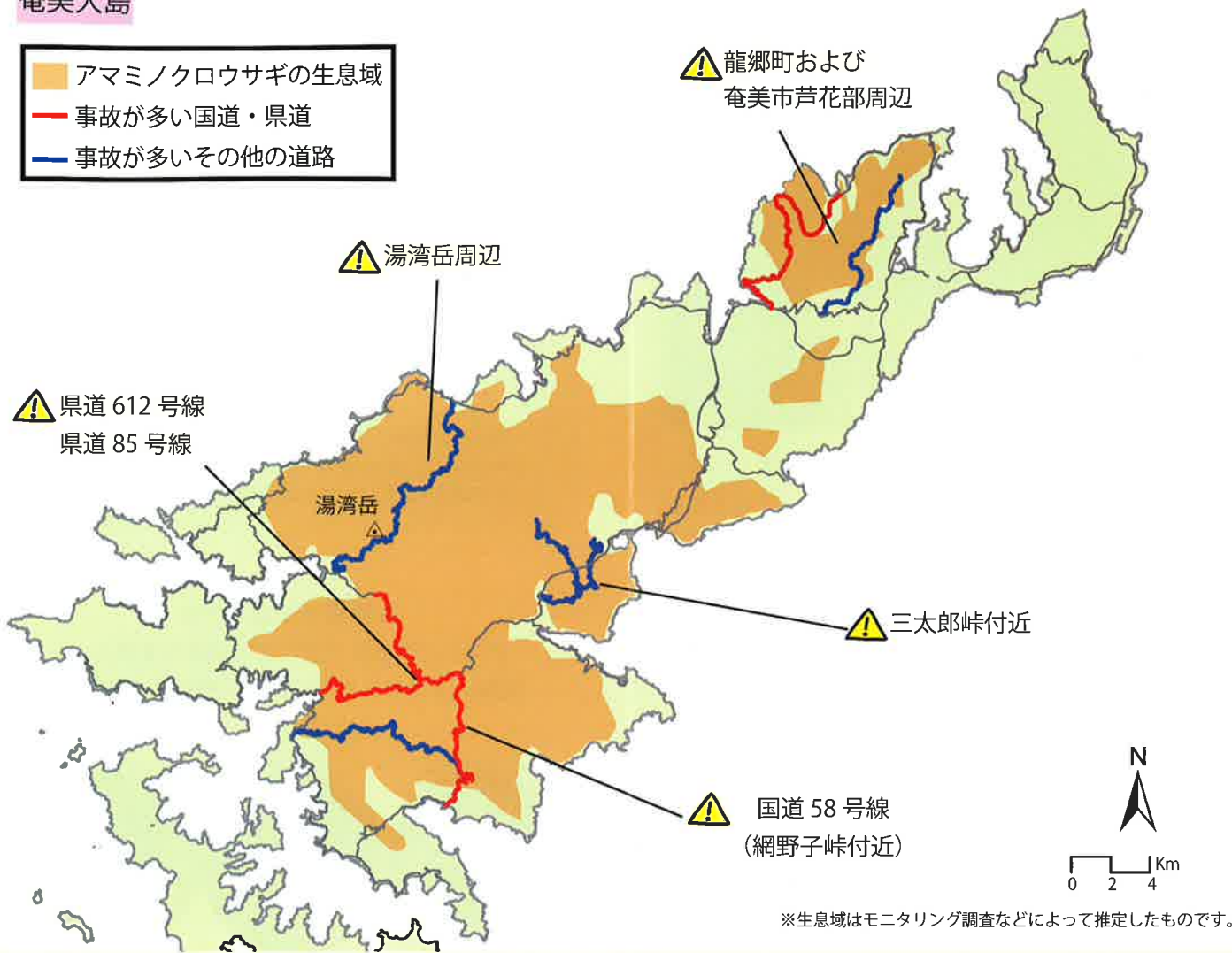
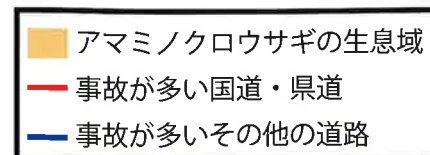
アマミノクロウサギ交通事故防止キャンペーン



徳之島



奄美大島



■ 夜間の運転には十分注意し、特に林道では時速 20km 以下で走行しましょう。

■ アマミノクロウサギが多く生息する地域や事故が多発している地点には、警戒標識などが設置されています。これを見たら、特に注意して下さい。



警戒標識



路面表示

徳之島では特に生息数の減少が心配されています！